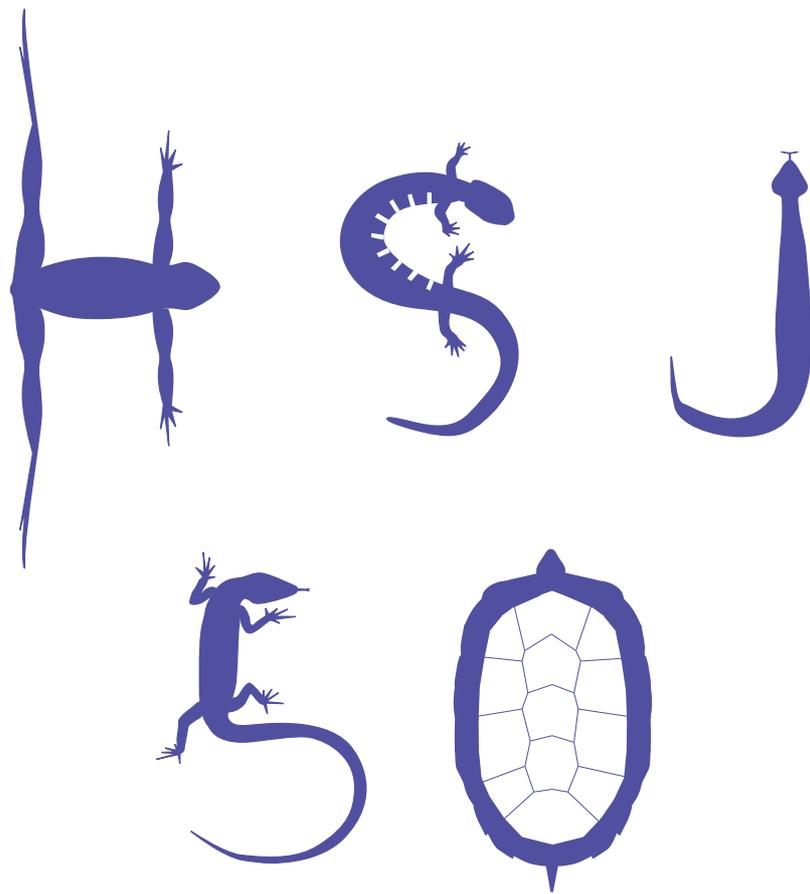


# 日本爬虫両棲類学会 第50回記念大会プログラム

The 50th Anniversary of Annual Meeting of  
the Herpetological Society of Japan



京都大学吉田キャンパス

2011年10月8日（土）～10月10日（月）

# 日本爬虫両棲類学会 第50回記念大会

日程：2011年10月8日（土）～10月10日（月）

10月8日（土）		10月9日（日）		10月10日（月）	
受付開始	08:30	受付開始	08:30	受付開始	08:30
開会式	09:25	口頭発表	09:00	口頭発表	09:00
口頭発表	09:30	昼食	12:10	昼食	12:10
昼食	12:10	記念講演会	13:20	ポスター発表	13:20
ポスター発表	13:10	写真撮影	14:50	口頭発表	14:20
口頭発表	14:30	総会	15:20	閉会式	16:45
自由集会	18:30	ポスター発表	16:20		
		懇親会	18:00		

会場：京都市左京区北白川追分町 京都大学吉田キャンパス（3ページの図を参照ください）

口頭発表会場は北部構内の理学研究科6号館（4ページ北部構内地図の⑥）4階401号室  
ポスター発表会場は北部構内の理学研究科セミナーハウス（4ページ北部構内地図の⑦）  
懇親会は本部構内百周年時計台記念館国際交流ホール

会費：当日参加費 3,500円，懇親会費 4,500円

受付：理学研究科6号館4階ロビー  
受付開始は8時30分からです。

クローク：理学研究科6号館3階305号室

昼食：10月8日（土）は理学研究科6号館の北東の生協北部食堂が11:00-14:00まで営業しています。  
10月9日（日），10月10日（月）は，生協食堂が閉店しています。お弁当を予約していない方は，  
今出川通りにある，コンビニやレストランをご利用ください。

記念写真：10月9日（日）14:50-15:20  
記念講演会の終了後，理学研究科6号館1階ピロティ西側で行います。  
写真は，和文誌にも掲載されますので，写真を申し込まない方もお集まりください。

総会：10月9日（日）15:20-16:20 理学研究科6号館4階401号室

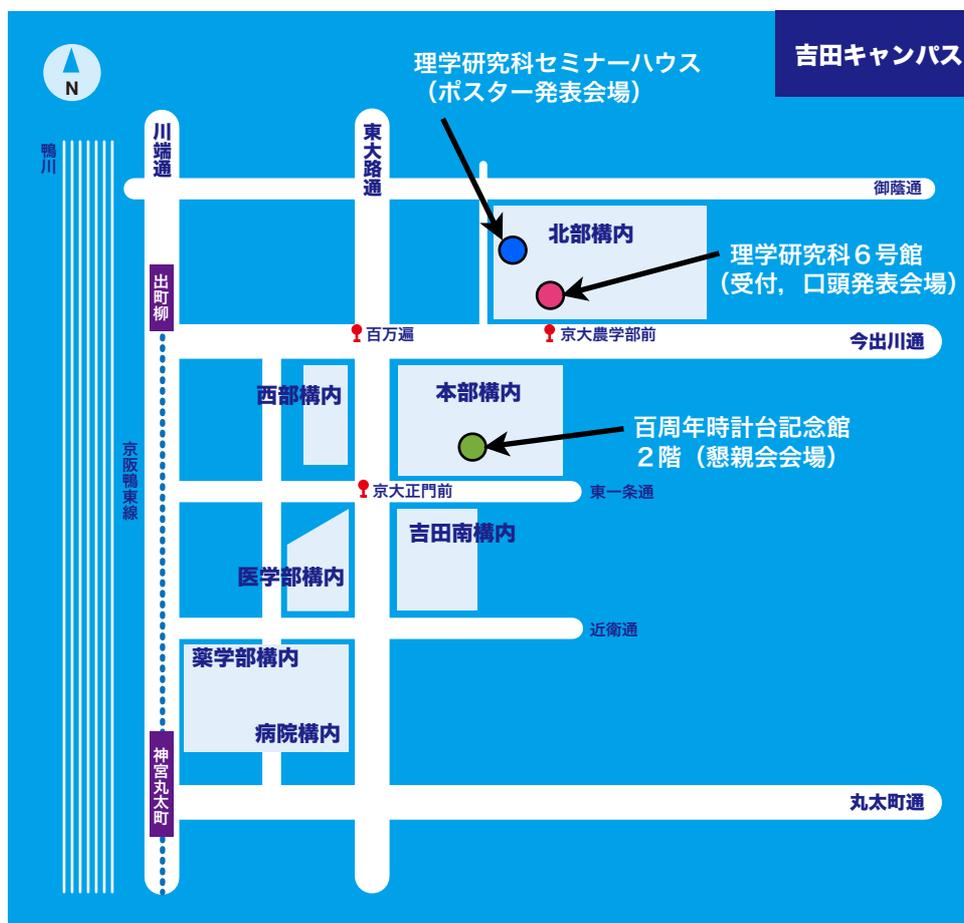
懇親会：10月9日（日）18:00-20:30 本部構内百周年時計台記念館2階 国際交流ホール

大会事務局：〒606-8502 京都大学大学院理学研究科動物学教室  
日本爬虫両棲類学会第50回大会事務局  
email: [hsj@zoo.zool.kyoto-u.ac.jp](mailto:hsj@zoo.zool.kyoto-u.ac.jp)  
TEL: 075-753-4091 FAX: 075-753-4114  
注意：開催日は電話に出ることができません。  
連絡はメールでお願いします。

## 大会会場への交通（京都大学大学院理学研究科6号館 京大農学部前バス停）

市バスのバス停 「京大農学部前」から直ぐ、「百万遍から」歩いて10分。

1. JR京都駅から  
市バス17系統（約35分） 京大農学部前へ  
市バス206系統（約35分） 百万遍へ  
地下鉄（約10分） 地下鉄今出川駅へ（地下鉄今出川駅からバスに乗り換える）
2. 阪急河原町から  
市バス17系統（約25分） 京大農学部前へ  
市バス201系統, 31系統, 3系統（約25分） 百万遍へ
3. 地下鉄今出川駅から  
市バス203系統（約15分） 京大農学部前へ  
市バス201系統（約15分） 百万遍へ
4. 京阪出町柳駅から  
市バス17系統, 203系統（約8分） 京大農学部前へ  
徒歩（約20分）にて 京大農学部前へ



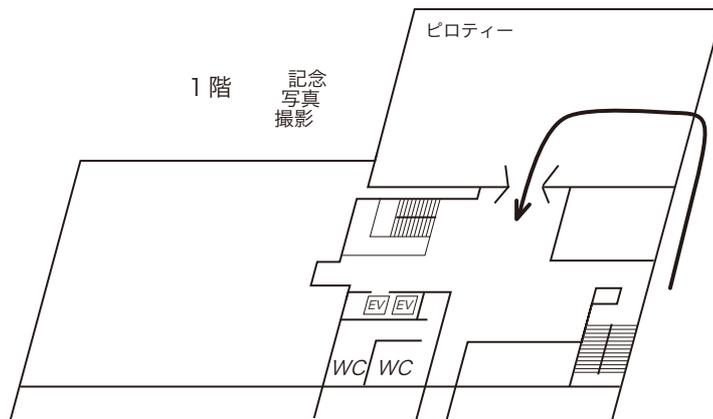
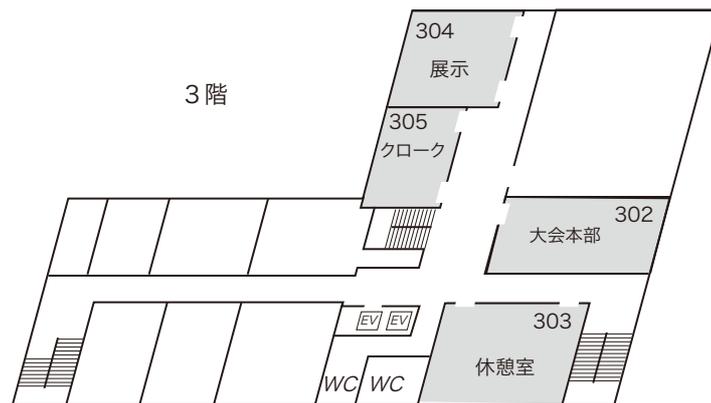
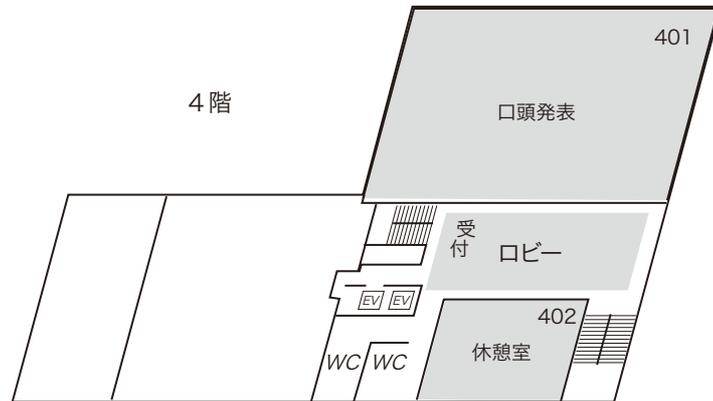
## 北部構内地図



## 本部構内地図



理学研究科6号館南棟



- ・ 写真撮影は10月9日の14:50より、1階ピロティ西側で行います。
- ・ 建物内はすべて禁煙です。喫煙場所は、2号館北側で6号館南側にあります。

## 講演される方へ

### 口頭発表をされる方

#### 時間

講演は1題につき発表時間12分、質疑応答が3分です。10分、12分、14分30秒に予鈴を鳴らします。スライド数に制限はありませんが、発表時間を厳守して下さい。

#### 使用ソフト

Windows (7)とMacOS Xを用意します。使用できるソフトはMicrosoft PowerPoint2007とAdobe (Acrobat) Reader, KeyNote (MacOS X) です。なお個人のノートパソコンのプロジェクターへの接続はできません。あらかじめご了承下さい。

#### 発表データ

当日は、発表用ファイルをCDにてご持参下さい。CDの不具合も予想されますので、万一に備えフラッシュメモリー等でもバックアップをご用意頂ければ幸いです。なお当日の受付は混雑が予想されますので、可能な方はCDの事前提出をお願いいたします。大会事務局まで郵送していただければ、事務局で作動の確認をした上で連絡を差し上げます。

#### データ入力

当日のデータ入力に関しては、「口頭発表データ受付」にコンピューターを用意いたしますので、各自作動を確認した上で、早めにCDを受付にご提出下さい。時間に遅れると、最悪の場合、発表できない事態も考えられますので、くれぐれもご注意下さい。

#### 注意事項

備え付けのコンピューターの使用は、ファイルのコピーとファイルの作動の確認のみにとどめてください。受付での文字やレイアウトの変更は他の発表者の方々のご迷惑になりますので、かたくお断り申し上げます。文字化けやレイアウトのずれがないよう、システムに含まれるフォント（MSゴシック等）を使用すること、各スライドには余白を十分に取ること、アニメーションは入れずに製作することをお勧めいたします。特にPowerPointのバージョンが異なると、レイアウトが変わることがありますのでご注意下さい。上のバージョンをご使用でない方、ご心配な方は一度JPEG形式の画像ファイルで保存し、それを再度スライドとして作成する等の対応をお願い申し上げます。

### ポスター発表をされる方

ポスター会場のパネルに講演番号を付けてありますので、所定の場所に貼って下さい。ポスターパネルの大きさは、幅90cm×高さ210cmです。ポスターパネルには、フレームが付いていますので、ポスターはこれよりやや小さめの大きさでご準備ください（幅はA0サイズがちょうど収まります）。

発表者は、10月8日（土）～10日（月）のポスター発表の時間にポスター前にお立ち下さい。ポスターは、8日(土)の9:00からお貼りいただいて結構です。また、10日(月)の17:00までに剥がして下さい。この時刻までに剥がされていないポスターは事務局で処分いたします。

### 講演要旨の提出

電子データでの提出をお願いします。詳細は次ページの和文誌編集委員会からのお知らせをご覧ください。

# 日本爬虫両棲類学会第50回大会 講演要旨の作成と提出に関する要項

## ◆はじめに

今大会の講演要旨は、2012年3月発行予定の爬虫両棲類学会報第2012巻第1号に掲載されることになっています。講演要旨を掲載するにあたっては、原稿の回収や編集が大きな負担となるため、次のような要項で講演要旨の電子データによる提出をお願いしております。今大会も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、どうしても電子データの提出が困難な場合は手書き原稿のみで結構です。

## ◆講演要旨作成について

口頭発表、ポスター発表とも講演要旨を作成して下さい。表題、発表者氏名、所属、英文表題、英文氏名、本文の順にお書き下さい。本文の字数は660字（22字 x 30行）以内、英文の場合は200 words以内です。レイアウトは爬虫両棲類学会報第2011巻第1号の学会大会講演要旨をご参照下さい。手書きの場合は400字詰め原稿用紙にお書き下さい。なお、爬虫両棲類学会報は和文を原則としているので、外国人の方が主発表者の場合でも、日本人の方が共同発表者に入っている場合は、和文の要旨をご用意ください。

## ◆電子データ提出について

### 1. メールをご利用になる方

10月7日AM10時までに講演要旨をメールの添付ファイルとしてお送り下さい。利用できるワープロソフトは、MSワード、またはMSワード互換ソフトです。他のソフトの場合も、MSワードで読み込める形式(拡張子docまたはdocx)のファイルを作成して下さい。ワードファイルをメールでお送りいただいた場合は、大会当日に印刷原稿をお持ちいただく必要はありません。ワードファイルを作れない場合は、メールの本文に講演要旨を入れてください。ただし、その場合は、イタリック体や特殊文字が利用できませんので、それらを指示した印刷原稿を大会当日に受付に提出して下さい。

### 2. 添付するファイル名について

ファイル名は、必ず『講演番号-第1発表者氏名』としてください。講演番号は半角の大文字とし、、講演番号と第1発表者名の間には、半角の-を挿入して下さい。

(例：P-01-京都太郎.doc)

講演要旨送り先アドレス：[hsj50@ml.keio.jp](mailto:hsj50@ml.keio.jp)

### 3. メールをご利用にならない方

大会当日に印刷原稿とその電子データをご提出下さい。利用出来るワープロソフトはメールの場合と同じです。それらのソフトがない場合は、テキスト形式のデータをお願いします。電子データは、CD-R、CD-RWのいずれかに保存して下さい。特にご要望のない限り、媒体の返却は致しませんのでご了承下さい。提出はいずれも大会受付をお願いします。

注意：パソコンで表記出来ない漢字が含まれる場合は、表記可能な漢字に代替して頂くか、それが困難な場合は、印刷原稿に指定の漢字を朱書きしてご提出下さい。

## ◆手書き原稿のみを提出の場合

口頭発表、ポスター発表ともに、大会当日に受付へご提出下さい。

日本爬虫両棲類学会  
和文誌編集委員会

口頭発表 10月8日(土) 401講義室

(座長：住田正幸)

O-01 09:30-09:45

○倉石典広・松井正文(京大・人間・環境)

「ミトコンドリアDNAと核DNAの塩基配列でみたシロアゴガエル属数種の種内変異」

O-02 09:45-10:00

○西村龍彦・松井正文(京大・人間・環境)

「ドリアガエル種群の系統関係」

O-03 10:00-10:15

○ハミディ=アミール・松井正文(京大・人間・環境)

「クロメウデナガガエルの遺伝的変異」

O-04 10:15-10:30

○Wang Bin, Jiang Jianping, Xie Feng (Chengdu Inst. Biol., Chinese Acad. Sci.)

「Systematics and phylogeography of *Feirana* (Dicroglossidae, Anura, Amphibia)」

O-05 10:30-10:45

松井正文(京大・人間・環境)

「ボルネオヒメアマガエルについて」

10:45-10:55 休息

(座長：竹中踐)

O-06 10:55-11:10

○太田英利(兵庫県立大・人博)・本多正尚(筑波大・院生命環境)・グエン=チュオンカン(ベトナム生態生物資源研究所)

「トカゲモドキ属の系統」

O-07 11:10-11:25

○栗田隆気(琉球大・院理工)・本多正尚(筑波大・院生命環境)・戸田守(琉球大・熱生研)

「亜種クロイワトカゲモドキの遺伝的集団構造：沖縄島における系群の分布と地理的境界」

O-08 11:25-11:40

戸田守(琉球大・熱生研)

「日本産ヤモリ属の分類，系統，生物地理」

O-09 11:40-11:55

○部優子・江崎保男・太田英利(兵庫県立大・人博)

「日本の固有種タワヤモリの繁殖と食性」

O-10 11:55-12:10

城野哲平(京大・院理・動物)

「違いの分かるヤモリ，分からないヤモリ：ヤモリ属の同種・異種オスの鳴き声に対するメスの反応」

12:10-13:10 昼休み

13:10-14:30 ポスター発表 理学研究科セミナーハウス

口頭発表 10月8日(土) 401講義室

(座長：福山欣司)

O-11 14:30-14:45

○五箇公一(国立環境研)・宇根有美(麻布大)・富永篤(琉球大・教育)・森口紗千子(国立環境研)・阿部慎太郎(環境省)・Jean-Marc Hero(Griffith大)・Alex D. Hyatt(CSIRO)

「両生類の新興感染症カエルツボカビの過去と未来」

O-12 14:45-15:00

○上田春樹・中山翔太・川合佑典(北大・院獣・毒性)・田中-上野寛子(明治学院大・教養教育センター)・池中良徳・石塚真由美(北大・院獣・毒性)

「アカハライモリとアフリカツメガエルにおける異物代謝酵素の比較」

O-13 15:00-15:15

○山田翔一・高田壮則(北大・院環境)

「性比に温度依存的適応度と生息域の温度分散が及ぼす影響」

O-14 15:15-15:30

○坂雅宏・多田哲子(京都府保環研)

「爬虫両生類用市販飼料の元素分析」

O-15 15:30-15:45

Thien Tao Nguyen (Vietnam National Museum of Nature, Vietnam)

「The amphibian of Vietnam and new discoveries」

O-16 15:45-16:00

○中村泰之(琉球大・熱生研)・宮路淳子(奈良女大・人間文化)

「纏向遺跡(奈良県桜井市)の古墳時代前期の土坑遺構より出土したカエル類遺存体について」

O-17 16:00-16:15

田中幸治(京大・院理・動物)

「アロメトリックエンジニアリングを用いたシマヘビの孵化仔サイズにおける地域変異に関する研究：予報」

16:15-16:25 休息

## 口頭発表 10月8日(土) 401講義室

(座長：矢部隆)

O-18 16:25-16:40

○疋田努(京大・院理・動物)・鈴木大(海洋大・海洋科学)  
「日本産カメ類の方言地理」

O-19 16:40-16:55

○亀崎直樹・谷口真理(須磨水)  
「日本に生息する淡水カメの垂直分布」

O-20 16:55-17:10

○谷口真理(須磨水)・亀崎直樹(須磨水/東大・農・生圏)  
「日本に定着したミシシippアカミガメのサイズと性比について」

O-21 17:10-17:25

○竹内美里(兵庫県立大・環境人間)・河村功一(三重大・生資)・呉弘植(済州大・科学教育)・  
太田英利(兵庫県立大・人博)  
「ミトコンドリアDNAの塩基配列から見たニホンスッポン(*Pelodiscus sinensis*)種群の遺伝的多様性と分布履歴の推定」

O-22 17:25-17:40

○多田哲子・坂雅宏(京都府保環研)  
「クサガメ雌の垂成体期について」

O-23 17:40-17:55

○鈴木大(海洋大・海洋科学)・矢部隆(愛知学泉大・マネジメント)・野呂達哉(日本カメ自然史研究会)・疋田努(京大・院理・動物)  
「外来種ハナガメによる遺伝的攪乱」

O-24 17:55-18:10

○早野あづさ・井上-村山美穂(京大・野生動物)・祖一誠・栗田正徳(名古屋港水族館)・内田詮三・照屋秀司(沖縄美ら海水族館)・亀崎直樹(須磨水/東大・農・生圏)  
「野生由来飼育下タイマイの遺伝学的解析」

O-25 18:10-18:25

○岡本慶(東大・農・生圏)・亀崎直樹(須磨水/東大・農・生圏)  
「フランス国立自然史博物館に所蔵されている*Chelonia agassizii*のホロタイプについて」

### 18:30- 自由集会

カエル探偵団 会場は当日案内します。

口頭発表 10月9日(日) 401講義室

(座長：見澤康充)

O-26 09:00-09:15

○西川完途・松井正文(京大・人間・環境)・江建平(中国科学院・成都生物研)  
「中国産イモリ*Pachytriton*の最新分類」

O-27 09:15-09:30

○菅原弘貴・井川武(広島大・院理・両生類研)・大海昌平(奄美市)・勝連盛輝(沖縄県衛生環境研)・横川昌史・井鷲裕司(京大・院農・森林科学)・住田正幸(広島大・理・両生類研)  
「絶滅危惧種イボイモリのマイクロサテライトDNAを用いた集団構造解析と飼育下繁殖の試み」

O-28 09:30-09:45

○坂本真理子(エフトレック)・阪田和弘(西日本技術開発)・松井正文(京大・人間・環境)  
「九州産コガタブチサンショウウオ3個体群における成熟年齢の比較」

O-29 09:45-10:00

○大川博志(呉市)・奥野隆史(呉三津田高)  
「カスミサンショウウオ阿武型について」

O-30 10:00-10:15

○岩田重美(岐阜高・自然科学部生物班)・高木雅紀(岐阜高)・青山栞奈・梅村啓太郎・大前佳穂(岐阜高・自然科学部生物班)・向井貴彦(岐阜大・地域科学)  
「岐阜県に生息するカスミサンショウウオの保護活動と遺伝的多様性の解析」

O-31 10:15-10:30

○松木崇司(環境省)・松井正文(京大・人間・環境)  
「京大構内人工池に生息するカスミサンショウウオの繁殖 IV」

10:30-10:40 休憩

口頭発表 10月9日(日) 401講義室

(座長：太田英利)

O-32 10:40-10:55

○森哲・城野哲平(京大・院理・動物)  
「ヘビおよびヘビの眼に対するカメレオンの防御反応」

O-33 10:55-11:10

鈴木大輔(札医大・医・解剖2)  
「ワニの顎関節の運動メカニズム」

O-34 11:10-11:25

○岡本卓(国立環境研)・栗山武夫(東邦大・理)・五箇公一(国立環境研)  
「ニホントカゲ外来個体群との交雑によるオカダトカゲ八丈島個体群の絶滅リスク評価」

O-35 11:25-11:40

竹中踐(東海大・生物理工)  
「コモチカナヘビ(*Zootoca vivipara*)の繁殖においてみられた発育不全胚」

O-36 11:40-11:55

○木寺法子・杜銘章(台湾師範大・生命科学)・森哲(京大・院理・動物)  
「エラブウミヘビ属3種の淡水判別」

O-37 11:55-12:10

○栗山武夫(東邦大・理)・見澤英恵(成田高)・小沢尚子(東邦大・理)  
「シマヘビの色彩変異を作る色素細胞 縞・縞なし・黒化型」

12:10-13:20 昼休み

13:20-14:50 第50会大会記念講演会 理学研究科6号館 401号室

原幸治 学会の思い出

松井正文 学会の歩み

14:50-15:20 記念写真撮影

15:20-16:20 総会

16:20-17:45 ポスター発表 理学研究科セミナーハウス

18:00-20:30 懇親会 百周年時計台記念館国際交流ホール

口頭発表 10月10日(月) 401講義室

(座長：戸田光彦)

O-38 09:00-09:15

福山欣司(慶応大・生物)

「自動録画撮影装置を使った繁殖期のオオハナサキガエルのモニタリング」

O-39 09:15-09:30

○島田知彦・加藤淳太郎(愛教大・理科・生物)

「フローサイトメトリーによる水田棲カエル類の種判別の試み」

O-40 09:30-09:45

○佐藤孝則(天理大・おや研)・中林成広(北海道両爬研)

「北海道釧路湿原に生息するエゾアカガエルの越冬場所」

O-41 09:45-10:00

○吉村友里(九大・シス生・生態)・豊田慎司(九大・農・生資環)・粕谷英一(九大・理・生態)

「ツチガエルの捕食回避-皮膚分泌物のニオイの効果」

O-42 10:00-10:15

○西海望・森哲(京大・院理・動物)

「カエルの不動行動の対捕食者戦略上の機能」

O-43 10:15-10:30

○尾形光昭(横浜市繁殖センター)・関谷國男(新潟大)・長谷川嘉則(かずさDNA研究所)・大谷浩巳・三浦郁夫(広島大・院理・両生類研)

「佐渡島産ツチガエルの鳴声について」

10:30-10:40 休息

(座長：島田知彦)

O-44 10:40-10:55

○水野雄介・松井正文(京大・人間・環境)

「モリアオガエルの系統遺伝学的研究」

O-45 10:55-11:10

○江頭幸士郎・松井正文(京大・人間・環境)・見澤康充(建設環境研)

「群馬県旧六合村産タゴガエル二型について」

O-46 11:10-11:25

○三浦郁夫(広島大・院理・両生類研)・綿貫岳人・市川洋子(県立広島大・生命環境・環境科学)・藤田 宏之(埼玉県立川の博物館)

「ナガレタゴガエルの性染色体」

O-47 11:25-11:40

○韓尚勳・全姝玟(韓國國立生物資源館)・金賢泰(韓國瑞山高等學校)

「東北産アカガエル属(無尾目)数種の分子系統学的位置再考察」

O-48 11:40-11:55

○井川武（広島大・院理・両生類研）・大海昌平（奄美市）・勝連盛輝（沖縄県衛生環境研）・住田正幸（広島大・院理・両生類研）

「絶滅危惧種イシカワガエルにおける集団構造とその景観要因」

O-49 11:55-12:10

○掛橋竜祐・倉林敦（広島大・院理・両生類研）・大海昌平（奄美市）・勝連盛輝（沖縄県衛生環境研）・細将貴（オランダ生物多様性センター・ナチュラリス）・住田正幸（広島大・院理・両生類研）

「ミトコンドリアゲノム情報に基づく *Babina* 属の系統的位置」

12:10-13:20 昼食

13:20-14:20 ポスター発表 理学研究科セミナーハウス

(座長：戸田守)

O-50 14:20-14:35

○竹内寛彦（京大・院理・動物）・松井正文（京大・人間・環境）・疋田努（京大・院理・動物）

「日本列島におけるタカチホヘビ (*Achalinus spinalis*) の系統地理」

O-51 14:35-14:50

○小嶋一輝（筑波大・生物）・本多正尚（筑波大・院生命環境）・瀧口勲（琉球大・院理工）・太田英利（兵庫県大・自然環境研）

「ミトコンドリアDNAから推定されたアカマタ（爬虫綱，ナミヘビ科）の遺伝的分化」

O-52 14:50-15:05

○皆藤琢磨（琉球大・院理工・海洋自然）・戸田守（琉球大・熱生研）

「ガラスヒバアの島嶼個体群間の遺伝的変異」

O-53 15:05-15:20

○Nontivich Tandavanitj（琉球大・院理工）・太田英利（兵庫県立大・人博）・戸田守（琉球大・熱生研）

「琉球列島沿岸にみられるウミヘビ属2種（クロガシラウミヘビとマダラウミヘビ）の分類学的関係：分子データにもとづく再検討」

15:20-15:30 休憩

口頭発表 10月10日(月) 401講義室

(座長：富永篤)

O-54 15:30-15:45

○北嶋円・伊藤寿茂・植田育男(新江ノ島水族館)  
「神奈川県江の島南西岸で確認されたヌマガエル」

O-55 15:45-16:00

○新谷望(広島大・院理・両生類研)・嶋村正樹(広島大・院理・生物学)・勝連盛輝(沖縄県衛生環境研)・倉林敦・住田正幸(広島大・院理・両生類研)  
「イシカワガエル青色変異個体の皮膚色素胞単位の観察」

O-56 16:00-16:15

○岡田純(鳥大・工)・福田幸広・結城悦子(Top Out Images)・岡田珠美(氷ノ山響の森)  
「オオサンショウウオの雄による卵保護行動」

O-57 16:15-16:30

○吉川夏彦・松井正文・西川完途(京大・人間・環境)  
「京都賀茂川産チュウゴクオオサンショウウオの現状(III)」

16:30-16:40 閉会式

ポスター発表 理学研究科セミナーハウス  
10月8日(土)～10月10日(月)

- P-01 ○大内裕貴(東大・農・生圏)・亀崎直樹(須磨水/東大・農・生圏)  
「アカウミガメの産卵行動の分析」
- P-02 ○島田貴裕(東大・農・生圏)・亀田和成・川合理人・大嶋大地(ウミガメ協)・青木茂(東大・農・生圏)・亀崎直樹(須磨水/東大・農・生圏)  
「安定同位体比から推測されるアオウミガメの摂餌生態」
- P-03 ○浜端朋子(京大・院理・動物)・亀崎直樹(須磨水/東大・院農・生圏)・疋田努(京大・院理・動物)  
「日本産アオウミガメ(*Chelonia mydas*)の遺伝的構造」
- P-04 ○高橋亮雄(岡山理大・総合情報)・大木公彦(鹿大・総博)・石堂和博・小脇有希乃(南種子町教委)・平山廉(早大・国際教養)  
「種子島の中新統より発見されたハナガメ属およびスッポン科の化石について」
- P-05 小賀野大一(市原高)  
「房総半島におけるニホンイシガメとクサガメの雑種個体の記録」
- P-06 ○西堀智子(和亀)・矢部隆(愛知学泉大・マネジメント)  
「大阪府大正川におけるニホンイシガメおよびクサガメの季節的移動」
- P-07 ○Jae-Young Song, Min-Ho Chang, Seon-Du Kim, Jong-Bae Park (Korea National Park Service), Kyo-Soung Koo (Kyounggi Univ.), Seok-Woo Lee (Korea National Park Service), Dong-Gil Cho, Su-Ryeon Kim, Ji-Hyun Lee (NEXUS Environmental Design Center), Sang-Hoon Han (National Institute of Biological Resources)  
「Home range of Chinese freshwater turtle, *Chinemys reevesii* in Korea」
- P-08 秋山繁治(清心女子高)  
「市街化が進んでいる水田地域でのミシシippアカミミガメの行動」
- P-09 ○楠田哲士・吉川晶子・安積修平・原口句美(岐阜大・応用生物)・矢部隆(愛知学泉大・マネジメント)  
「岐阜市柳戸地区における野生カメ類の種構成および性比とミシシippアカミミガメの産卵の証拠」
- P-10 ○三根佳奈子・谷口真理・亀崎直樹(須磨水)  
「日本に定着したミシシippアカミミガメの生殖腺重量の季節変化について」
- P-11 ○吉川晶子・楠田哲士・安積修平・土井守(岐阜大・応用生物)  
「岐阜市柳戸地区における野生ミシシippアカミミガメの卵形成に伴う血中の性ホルモンおよび生化学値の変化」
- P-12 ○矢部隆・三輪俊仁・丹羽崇(愛知学泉大・マネジメント)  
「岐阜県海津市山除川流域における淡水生カメ類の生息状況と外来生物ミシシippアカミミガメの急速な増加」

- P-13 ○天白牧夫（日大・院・生物資源）・大澤啓志・勝野武彦（日大・生物資源）  
「神奈川県東部の2水域におけるカミツキガメの食性」
- P-14 ○小林聡・阿部聖哉・松木吏弓（電中研・生物）  
「印旛沼西岸地域におけるニホンアカガエルのSSRマーカーによる遺伝的交流の推定」
- P-15 ○前田憲男・福山欣司（慶応大・生物）  
「ヤマアカガエルにおける産卵直後から孵化までの卵塊サイズの変化について」
- P-16 ○松島野枝（東北大・院・生命科学）・高柳真世（上野動物園）・牧野能士・河田雅圭（東北大・院・生命科学）  
「水田環境に生息するアカガエル2種の集団構造の比較」
- P-17 ○戸金大（自然研）・福山欣司（慶應大・生物）  
「西表島におけるアカガエル科2種のスケルトクロノロジーによる年齢推定法の有効性」
- P-18 ○八木愛（麻布大・院獣・動応科学）・福山欣司（慶応大・生物）・戸金大（自然研）・高槻成紀（麻布大・動応）  
「東京都町田市の里山におけるニホンアカガエルとトウキョウダルマガエル」
- P-19 ○木田耕一（信大・院農）・大窪久美子（信大・農）・四方圭一郎（飯田市美博）・大石善隆（信大・農）  
「伊那盆地におけるダルマガエルの食性と環境条件との関連性」
- P-20 ○長井悠佳里（広島大・院理・両生類）・土井敏男（神戸市環境評価共生推進室）・湯浅義明（姫路市立水族館）・藤谷武史（東山動物園）・伊藤邦夫（川崎医科大附属高校）・小泉雄紀・三浦郁夫（広島大・院理・両生類）  
「ナゴヤダルマガエルの遺伝的地域分化(II)—とくに岡山集団と名古屋集団が接する境界領域について—」
- P-21 土井敏男（神戸市）  
「神戸市西部のダルマガエルの生息状況」
- P-22 岩井紀子（国立環境研）  
「オットンガエルの移動範囲」
- P-23 ○Karlina Indraswari, Ryo Yoneshima, Koji Nakamura (Grad. Sch. Natural Sci. Tech., Kanazawa Univ.)  
「Abundance and activities of *Rhacophorus arboreus* in satoyama restoration area in Kakuma, Kanazawa」
- P-24 戸田光彦（自然研）  
「金沢城公園におけるモリアオガエルの個体群構造」
- P-25 中川宗孝・西森誉普（環境生物研究会）  
「京都府南部・南山城地方におけるカエル類の生息分布」

- P-26 ○山本康仁・千賀裕太郎（東京農工大・農）  
「土地利用の異なる2地点におけるカエル類の音声モニタリング 東三河地域のカエル相」
- P-27 ○福田大介・鳥居高志・平中晴朗・西田弘之・永井靖弘・阿部純・館野聡・土田琢水（いであ  
（株））・内閣府沖縄総合事務局北部ダム事務所調査環境課  
「ダム周辺環境の長期モニタリングとしての両生類・鳥類音声自動録音調査の有効性」
- P-28 大澤啓志（日大・生物資源）  
「仙台平野におけるカエル類への津波の影響」
- P-29 ○Hae-Jun Baek, Aram Jeong (Res. Vet. Sci. Coll. Vet. Med., Seoul National Univ.), Hyo-Jin  
Yang (Seoul Grand Park), Hang Lee, Mi-Sook Min (Res. Vet. Sci. Coll. Vet. Med., Seoul National  
Univ.)  
「Chytridiomycosis pathogen survey in wild population of Korean amphibian」
- P-30 Djong Hon Tjong（アンダラス大・理）・松井正文（京大・人間・環境）・倉本満（宗像市）・西岡  
みどり・○住田正幸（広島大・院理・両生類研）  
「日本産ヌマガエルの新種記載」
- P-31 ○倉林敦（広島大・院理・両生類研）・松井正文・Amir Hamidy（京大・人間・環境）・Daicus M.  
Belabat (Inst. Biol. Sci., Fac. Sci., Univ. Malaya)・倉本満（宗像市）・住田正幸（広島大・院  
理・両生類研）  
「オセアニアヒメアマガエル亜科はどこからきたのか？：亜科所属不明属*Gastrophrynoidea*の系統的  
位置に基づく推定」
- P-32 Dong-Youn Kim, Hae-Jun Baek, Hang Lee, Mi-Sook Min (CGRB Res. Inst. Vet. Sci. Coll. Vet.  
Med., Seoul National Univ.)  
「Genetic variation of Korean wrinkled frogs」
- P-33 ○本多正尚（筑波大・院生命環境）・栗田隆気（琉球大・院理工）・戸田守（琉球大・熱生研）・太  
田英利（兵庫県大・自然環境研）  
「クロイワトカゲモドキ（爬虫綱，トカゲモドキ科）の亜種間での遺伝的分化」
- P-34 ○菊川信人・疋田努（京大・院理・動物）  
「ニホンカナヘビにおける頭骨形態の地理的変異」
- P-35 ○小泉有希・疋田努（京大・院理・動物）  
「ミトコンドリア遺伝子を用いたツシマスベトカゲの遺伝的変異」
- P-36 松尾公則（長崎県西彼杵郡）  
「長崎県における*Gekko*属の分布」
- P-37 原竜也（広島県環境保健協会）  
「広島県におけるタワヤモリ*Gekko tawaensis*の長期にわたる標識再捕獲調査データを用いた成長と  
生態的寿命」
- P-38 ○田和優子（京大・野生動物）・沼田英治（京大・院理・動物）  
「ニホンヤモリの活動に及ぼす概日リズムと温度の影響」

- P-39 ○笹井隆秀（琉球大・院理工）・西岡寛子・伊澤雅子（琉球大・理）・戸田守（琉球大・熱生研）  
「赤外線サーモグラフィによるキシノウエトカゲの活動体温の検討」
- P-40 ○高橋洋生・戸田光彦（自然研）・戸田守（琉球大・熱生研）  
「沖縄島の都市部に定着したグリーンアノール個体群の生息状況」
- P-41 ○伊藤亮（京大・野生動物）・森哲（京大・院理・動物）  
「種内コミュニケーションに音声を利用しないマダガスカルのトカゲ類2種による鳥類警戒声の盗聴」
- P-42 ○武市知美・保田昌宏・那須哲夫（宮崎大・農・獣医）・森田哲夫（宮崎大・農・畜産草地）・岩本俊孝（宮崎大・教育・生物）・谷口和之・中牟田信明（岩手大・農・獣医）  
「オキナワキノボリトカゲの鋤鼻器における形態学および組織化学的研究」
- P-43 岸田拓士（京大・院理・動物）  
「有鱗類，特にウミヘビ類の感覚受容体遺伝子レパトリーの進化学的解析」
- P-44 ○児島庸介・森哲（京大・院理・動物）  
「ヤマカガシの母親はヒキガエルを選択的に捕食するのか？」
- P-45 ○Min-Ho Chang (Jeju National Univ.), Byoung-Soo Kim, Tae-Wook Kim, Su-Gon Park, Hong-Shik Oh (National Park Res. Inst.)  
「Food habit of collared many-toothed snake *Sybynophis chinensis* in Korea」
- P-46 ○角田羊平・森哲（京大・院理・動物）  
「カルシウム成分が乏しく1日で孵化するヒメハブの卵」
- P-47 ○奥平智博・森貴久（帝京科学大学・理工・アニマルサイエンス）  
「負傷したアカハライモリはどう動くのか？」
- P-48 ○富永篤（琉球大・教育）・松井正文・吉川夏彦・西川完途（京大・人間・環境）・林光武（栃木県博）  
「アカハライモリにみられる遺伝集団とその分布」
- P-49 ○田上正隆・堀江俊介・堀江真子（岐阜県世界淡水魚園水族館）  
「コガタブチサンショウウオの飼育下繁殖」
- P-50 山上将史（株式会社とと・P L A N N I N G）  
「伏流水中に生息するコガタブチサンショウウオ幼生の食性について」
- P-51 ○見澤康充（建設環境研究所）・松井正文（京大・人間・環境）  
「ヒダサンショウウオ幼生背面の色彩パターンを用いた個体識別」
- P-52 太田宏（東北大・生命・生態システム）  
「テレメトリー法によるトウホクサンショウウオの陸上移動の追跡の試み IV」

- P-53 ○青木玄・松井正文・西川完途（京大・人間・環境）  
「トウホクサンショウウオの遺伝的変異」
- P-54 ○藤田宏之・石井克彦（埼玉県立川の博物館）  
「埼玉県寄居町におけるトウキョウサンショウウオの保全例」
- P-55 ○水戸直・大島一彦・齊藤修（長浜バイオ大・バイオサイエンス，田村山ネット）  
「滋賀県長浜市に生息するカスミサンショウウオの生態調査と遺伝的系統解析Ⅱ 繁殖地が消失する可能性」
- P-56 ○岩田貴之（安来市役所）・大川博志（呉市）  
「島根県安来市におけるカスミサンショウウオ種内二集団間の形態的及び生態的差異」
- P-57 ○懸川雅市（三鷹高）・岸富士夫（しろうま自然の会）  
「長野県白馬地方北部のハクバサンショウウオの繁殖期の外部形態」
- P-58 ○大村文乃（東大・農）・遠藤秀紀（東大・農／東大博物館）  
「有尾目の体幹部構造の機能形態学的多様性」
- P-59 ○照井滋晴・前田潤（環境把握推進ネット）・佐藤孝則（天理大・おや研）  
「釧路湿原美濃地区におけるキタサンショウウオ(*Salamandrella keyserlingii*)の活動状況」

## 大会参加者名簿

(アルファベット順, ○は懇親会参加者, 演者としての発表の講演番号のみを記載)

- 秋道 優真  
○秋田 喜憲  
○秋山 繁治, P-08  
○青木 玄, P-53  
○青木 良輔  
荒尾 智哉  
跡部 峻史  
○Baek, Hae-Jun, P-29  
○張 東君  
○Chang, Min-Ho, P-45  
○土井 敏男, P-21  
○遠藤 聡子  
○江頭 幸士郎, O-45  
○藤田 宏之, P-54  
藤谷 武史  
○福田 大介, P-27  
○福本 幸夫  
福島 ますみ  
○福山 欣司, O-38  
○五箇 公一, O-11  
○後藤 康人  
○浜端 朋子, P-03  
○ハミディ アミール, O-03  
○韓 尙勳 (Han, Sang-Hoon), O-47  
○原 幸治  
○原 竜也, P-37  
○長谷川 巖  
○早野 あづさ, O-24  
○林 光武  
○疋田 努, O-18  
○広瀬 文男  
○本多 正尚, P-33  
○井川 武, O-48  
○Indraswari, Karlina, P-23  
○伊藤 亮, P-41  
岩井 紀子, P-22  
○岩田 亜美, O-30  
○岩田 貴之, P-56  
○城野 哲平, O-10  
○角田 羊平, P-46  
○鶏内 博之  
○皆藤 琢磨, O-52  
○懸川 雅市, P-57  
○掛橋 竜祐, O-49  
○亀崎 直樹, O-19  
上瀧 七美  
○金井 賢一郎  
○菅野 一輝  
○川原 康寛  
○川内 一憲  
木田 耕一, P-19  
○木寺 法子, O-36  
○菊川 信人, P-34  
○Kim, Dong-Young, P-32  
○木村 有紀  
○岸田 拓士, P-43  
○北嶋 円, O-54  
○小林 聡, P-14  
○小岩 聡  
○小泉 有希, P-35  
○小泉 雄紀  
○小嶋 一輝, O-51  
○兎島 庸介, P-44  
○近藤 めぐみ  
○Korsos, Zoltán  
○倉林 敦, P-31  
○倉石 典広, O-01  
○栗田 隆気, O-07  
○栗山 武夫, O-37  
楠田 哲士, P-09  
○前田 憲男, P-15  
○丸山 一子  
○間曾 左智子  
○松井 正文, O-05  
○松木 崇司, O-31  
○松尾 公則, P-36  
○松島 野枝, P-16  
○Min, Mi-Sook  
○三根 佳奈子, P-10  
○見澤 康充, P-51  
水戸 直, P-55  
光岡 (谷村) 佳納子  
○三浦 郁夫, O-46  
○水野 雄介, O-44  
○森 哲, O-32  
○森口 一  
○森田 悦朗  
○本川 雅治  
○長井 悠佳里, P-20  
○中川 宗孝, P-25  
中村 泰之, O-16  
○中澤 隆太

- Nguyen, Tien Tao, O-15
- 西堀 智子, P-06
- 西川 完途, O-26
- 西村 龍彦, O-02
- 西海 望, O-42
- 小賀野 大一, P-05
- 尾形 光昭, O-43
- 岡田 純, O-56
- 岡本 慶, O-25
- 岡本 卓, O-34
- 大川 博志, O-29
- 奥平 智博, P-47
- 大村 文乃, P-58
- 大澤 啓志, P-28
- 太田 英利, O-06
- 太田 宏, P-52
- 大内 裕貴, P-01
- 坂 雅宏, O-14
- 坂本 真理子, O-28
- 更科 美帆
- 笹井 隆秀, P-39
- 佐藤 直樹
- 佐藤 孝則, O-40
- 千石 正一
- 柴田 保彦
- 柴田 倫太郎
- 島田 貴裕, P-02
- 島田 知彦, O-39
- 新谷 望, O-55
- 部 優子, O-09
- Song, Jae-Young, P-07
- 菅原 弘貴, O-27
- 住田 正幸, P-30
- 鈴木 大, O-23
- 鈴木 大輔, O-33
- 多田 哲子, O-22
- 田上 正隆, P-49
- 高木 雅紀
- 高橋 亮雄, P-04
- 高橋 洋生, P-40
- 武市 知美, P-42
- 竹田 正義
- 竹中 踐, O-35
- 竹内 寛彦, O-50
- 竹内 美里, O-21
- 田辺 真吾
- 田中 幸治, O-17
- Tandavanitj Nontivich, O-53
- 谷口 真理, O-20
- 谷村 就盛
- 立脇 康嗣
- 田和 優子, P-38
- 天白 牧夫, P-13
- 照井 滋晴, P-59
- 戸田 守, O-08
- 戸田 光彦, P-24
- 戸田 節子
- 戸金 大, P-17
- 富樫 忠志
- 徳田 龍弘
- 富永 篤, P-48
- 富岡 克寛
- 土金 慧子
- 上田 春樹, O-12
- 梅村 啓太郎
- Wang, Bin, O-04
- 渡辺 潔
- 矢部 隆, P-12
- 八木 愛, P-18
- 山田 翔一, O-13
- 山上 将史, P-50
- 山本 康仁, P-26
- 八代 彩子
- 安森 盟文
- 米島 諒
- 吉川 晶子, P-11
- 吉川 夏彦, O-57
- 吉村 雅子
- 吉村 友里, O-41

## 日本爬虫両棲類学会第50回大会事務局

委員長：松井正文

実行委員：疋田努，森哲，西川完途

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院理学研究科動物学教室

email: [hsj@zoo.zool.kyoto-u.ac.jp](mailto:hsj@zoo.zool.kyoto-u.ac.jp)

TEL: 075-753-4091 (疋田) または075-753-4075 (森)

FAX: 075-753-4114

(プログラムの記載に誤りがある場合は，メールにてご連絡ください)